

18. 献血

少子高齢化の進行に伴う献血可能人口の減少や若年層の献血離れ等の影響もあり、献血者数は全国的に減少傾向にある。

また、輸血用血液製剤については国内の献血により供給されているが、アルブミン製剤など血漿分画製剤の原料においては、いまだに多くを外国からの輸入に依存している状況である。

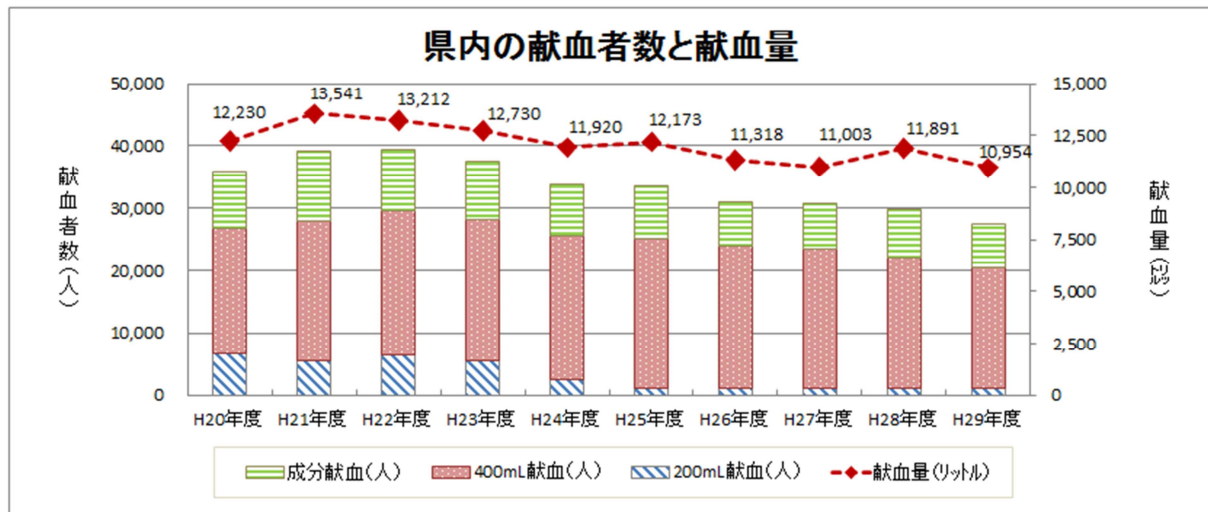
これらのことから、血液製剤の安全性の向上、献血による国内自給の原則、適正使用の推進、血液事業運営に係る公正の確保と透明性の向上を基本理念とした「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が平成15年7月に施行された。

この法律に基づき、「県内の医療機関で必要な血液は県民からの善意の献血で賄う」を合い言葉に、高知県赤十字血液センター、市町村、民間ボランティア等と連携し、若年層をはじめとする県民各層への献血の普及・啓発活動を行うとともに、地域での献血組織の育成強化を図る。

(1) 献血者数

平成29年度の献血者数は27,522人であり前年度より7.4%減、献血量は10,954リットルであり7.9%減であった。

なお、過去10年間の献血者数及び献血量は下記のとおりである。



	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	対前年比	構成比	(参)H29年度目標値
200mL献血(人)	6,553	5,575	6,357	5,592	2,428	1,082	1,026	1,069	1,146	991	86.5%	3.6%	895
400mL献血(人)	20,266	22,389	23,105	22,491	23,046	23,952	22,869	22,308	20,904	19,394	92.8%	70.5%	19,547
成分献血(人)	9,059	11,174	9,932	9,434	8,371	8,558	7,088	7,278	7,657	7,137	93.2%	25.9%	6,924
計(人)	35,878	39,138	39,394	37,517	33,845	33,592	30,983	30,655	29,707	27,522	92.6%		27,366
献血量(リットル)	12,230	13,541	13,212	12,730	11,920	12,173	11,318	11,003	11,891	10,954	92.1%		10,878

(2) 献血適格率等の状況

平成29年度の献血申込者のうち献血ができなかった人数は、3,643人で、申込者のうち11.7%を占めた。

特に、血液比重が不足する献血申込者は、男性1.7%に対して、女性17.3%となっているが、これは男女による赤血球数の違いの影響が大きい。

平成29年度中の献血申込者数と献血ができなかった人数

区分	申込者数 (人)	献血できなかった人数(人)						献血者数 (人)		
		比重不足		その他		計		構成割合 (%)	構成割合 (%)	
		構成割合 (%)	構成割合 (%)	構成割合 (%)	構成割合 (%)					
男	200mL献血	96	3	3.1%	5	5.2%	8	8.3%	88	91.7%
	400mL献血	15,064	290	1.9%	593	3.9%	883	5.9%	14,181	94.1%
	血しょう成分献血	1,136	25	2.2%	95	8.4%	120	10.6%	1,016	89.4%
	血小板成分献血	4,160	39	0.9%	122	2.9%	161	3.9%	3,999	96.1%
	計	20,456	357	1.7%	815	4.0%	1,172	5.7%	19,284	94.3%
女	200mL献血	1,093	105	9.6%	85	7.8%	190	17.4%	903	82.6%
	400mL献血	7,207	1,594	22.1%	400	5.6%	1,994	27.7%	5,213	72.3%
	血しょう成分献血	902	53	5.9%	52	5.8%	105	11.6%	797	88.4%
	血小板成分献血	1,507	106	7.0%	76	5.0%	182	12.1%	1,325	87.9%
	計	10,709	1,858	17.3%	613	5.7%	2,471	23.1%	8,238	76.9%
合計	200mL献血	1,189	108	9.1%	90	7.6%	198	16.7%	991	83.3%
	400mL献血	22,271	1,884	8.5%	993	4.5%	2,877	12.9%	19,394	87.1%
	血しょう成分献血	2,038	78	3.8%	147	7.2%	225	11.0%	1,813	89.0%
	血小板成分献血	5,667	145	2.6%	198	3.5%	343	6.1%	5,324	93.9%
	計	31,165	2,215	7.1%	1,428	4.6%	3,643	11.7%	27,522	88.3%

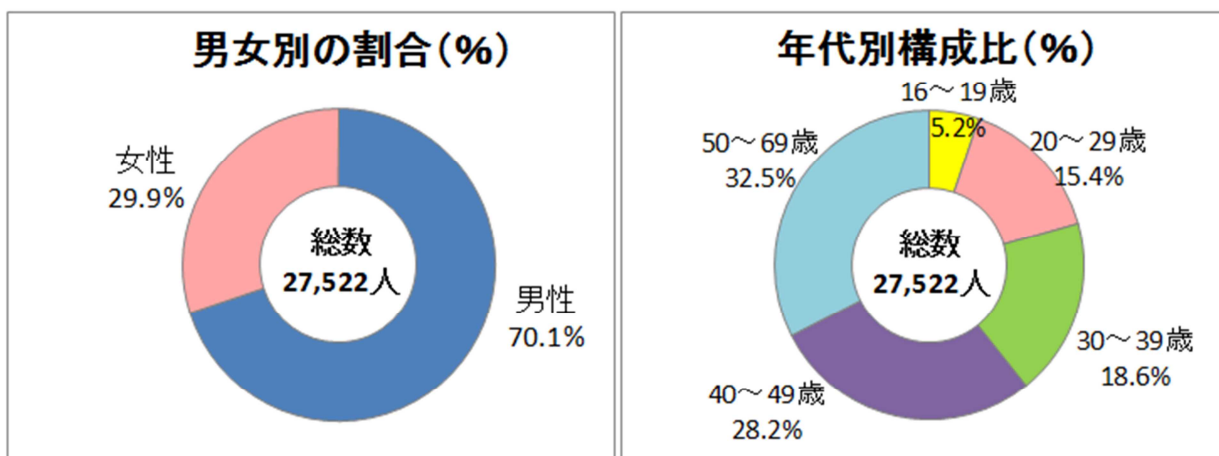
(3)性別・年代別からみた献血者の状況

献血者の性別の構成割合は、男性 70.1%、女性 29.9%となっている。

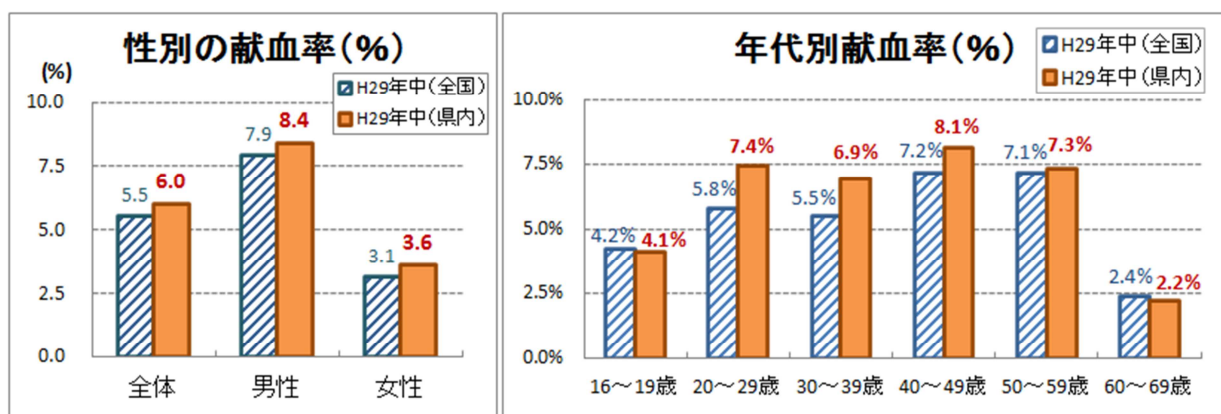
献血率を性別で見ると男女ともに全国平均を 0.5%上回っており、年代別では 20 歳代から 50 歳代で全国平均より高くなっている。

平成 29 年度 性別・年代別献血者数

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血(人)	39	267	3	195	2	126	18	117	26	198	88	903	991
400mL献血(人)	740	303	2,275	861	2,669	894	3,929	1,331	4,568	1,824	14,181	5,213	19,394
血しょう成分献血(人)	9	15	114	196	196	169	288	194	409	223	1,016	797	1,813
血小板成分献血(人)	29	24	319	282	727	342	1,405	490	1,519	187	3,999	1,325	5,324
合計(人)	817	609	2,711	1,534	3,594	1,531	5,640	2,132	6,522	2,432	19,284	8,238	27,522



平成 29 年中の性別・年代別献血率



(注1) 1月から12月の献血者による献血率(献血者数は、日本赤十字社血液事業「平成29年血液事業統計資料～血液事業の現状～(平成29年1月～12月累計)」掲載データを利用)

(注2) 献血率の算定に使用した人口は、総務省HPにて公表中の「平成29年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口(都道府県別)(総計)」を使用

なお、16～19歳の献血率は、15～19歳人口を用いて算出

(4) 血液製剤供給量の推移

県内における血液製剤の供給状況

上段：200mL換算本数
（下段：実本数）

年度	全血製剤	赤血球製剤	血しょう製剤	血小板製剤	合計
H20	0 (0)	46,017 (26,142)	24,228 (6,830)	46,700 (4,686)	116,945 (37,658)
H21	0 (0)	46,709 (25,927)	18,648 (5,480)	55,075 (5,505)	120,432 (36,912)
H22	0 (0)	47,269 (26,480)	18,820 (5,229)	48,455 (4,846)	114,544 (36,555)
H23	0 (0)	46,586 (25,897)	19,428 (5,282)	52,170 (5,216)	118,184 (36,395)
H24	4 (2)	46,454 (24,428)	19,554 (5,348)	54,595 (5,501)	120,607 (35,279)
H25	0 (0)	45,093 (23,199)	22,649 (6,250)	54,085 (5,410)	121,827 (34,859)
H26	0 (0)	46,079 (23,578)	20,805 (5,743)	57,185 (5,718)	124,069 (35,039)
H27	0 (0)	42,984 (21,944)	18,320 (4,976)	58,560 (5,856)	119,864 (32,776)
H28	2 (2)	43,406 (21,997)	20,254 (5,303)	53,561 (5,358)	117,221 (32,658)
H29※	0 (0)	42,123 (21,387)	15,269 (5,330)	57,460 (5,746)	114,852 (32,463)

(注) 換算本数は、400mL由来製剤=×2、2単位=×2、5単位=×5、10単位=×10、15単位=×15、20単位=×20により算定

※H29年度データ:全国血液センター供給本数速報(Ⅱ)平成29年4月～平成30年3月分累計より

